

- 問1 東北地方の電力事情について、青森県の下北半島や秋田県・山形県の日本海沿岸部などに、発電所を示す記号が帯状に多く分布している場合、これらは主にどの再生可能エネルギーを利用した発電所であると考えられるか。 (2024年 青森県公立入試 類似)
1. バイオマス発電                      2. 水力発電                      3. 風力発電                      4. 地熱発電
- 問2 山形県を流れる最上川の河口付近に位置し、江戸時代から稲作が盛んだった平野と、その拠点である酒田港から「西廻り航路」を通じて当時の経済の中心地へと米を運んだ際、その主な目的地となった都市の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2026年 京都府公立入試 類似)
1. 庄内平野 - 江戸                      2. 越後平野 - 江戸                      3. 庄内平野 - 大阪                      4. 越後平野 - 大阪
- 問3 東北地方の太平洋沿岸部では、夏季にオホーツク海高気圧から「冷たく湿った北東の風」が吹き込むことで、気温が上がらず農作物の生育に悪影響を及ぼすことがあります。この風の名称として正しいものはどれですか。 (2018年 東京都公立入試 類似)
1. 季節風（北西の風）                      2. からっ風                      3. フェーン現象                      4. やませ
- 問4 長野県から新幹線を利用して秋田県へ向かう場合、一度関東地方を経由してから北上し、東北地方へと入る経路をとります。このとき、東北地方の中で最初に通過することになる、東北地方の南端に位置する県を選びなさい。 (2026年 長野県公立入試 類似)
1. 岩手県                      2. 山形県                      3. 福島県                      4. 宮城県
- 問5 日本の東北地方における夏期の気候について述べた文として、月平均気温の分布の特徴と、その背景にある要因の組み合わせとして最も適切なものを選びなさい。 (2014年 愛媛県公立入試 類似)
1. 太平洋側の気温が日本海側より高くなる。要因は、暖流である黒潮の影響で温暖な空気が供給されるためである。                      2. 太平洋側の気温が日本海側より低くなる。要因は、冷涼な北東の風である「やませ」が流れ込むためである。                      3. 日本海側の気温が太平洋側より低くなる。要因は、対馬海流の影響で冷たい空気が停滞するためである。                      4. 日本海側の気温が太平洋側より低くなる。要因は、冬の季節風の影響で積雪が多く、地表の温度が上がりにくいためである。
- 問6 岩手県の地形や主要都市の立地について、東北地方の地図上の状況を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2023年 静岡県公立入試 類似)
1. 県の中央を奥羽山脈が縦断しており、県東部の海岸線は奥羽山脈が海に直接面することで、全域が険しい断崖絶壁の続く地形となっている。                      2. 県庁所在地の盛岡市は内陸部に位置しており、そこから東へ向かった太平洋沿岸には、奥行きのある湾が連続する三陸海岸の景観が広がっている。                      3. 県庁所在地の仙台市を中心として、県東部の太平洋沿岸には広大な平野が続いており、単調な海岸線を利用した砂浜海岸が形成されている。                      4. 県庁所在地の盛岡市は三陸海岸沿いの港町として発展しており、その周辺には複雑に入り組んだ海岸線を利用した大規模な工業港が集中している。
- 問7 青森県と秋田県の県境にまたがる地域に位置し、世界でも最大級の規模でブナの原生林が残されていることから、1993年に日本で初めて世界自然遺産に登録された山地の名称を答えなさい。 (2023年 三重県公立入試 類似)
1. 白神山地                      2. 屋久島                      3. 吉野                      4. 日本アルプス
- 問8 東北地方の夏において、冷たく湿った北東風が吹き込み、奥羽山脈の東側で霧や低い雲が発生して低温や日照不足が続くことがあります。このような気象条件によって、米などの農作物の生育が妨げられる被害を何といえますか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
1. 冷害                      2. 公害                      3. 干害                      4. 塩害
- 問9 東北地方の気候条件と産業の成り立ちについて述べた次の文章の空欄にあてはまる語句の組み合わせとして、正しいものはどれですか。「東北地方では、降雪により農作業ができない（①）の期間に、（②）が貴重な収入を得るための（③）として漆器などの生産を行い、それが今日の伝統的工芸品へとつながった。」 (2026年 岡山県公立入試 類似)
1. ①夏 - ②商人 - ③副業                      2. ①夏 - ②農家 - ③本業                      3. ①冬 - ②農家 - ③副業                      4. ①冬 - ②武士 - ③内職
- 問10 日本の地方別の特徴について、ある地方では面積割合（約17.7%）が人口割合（約7.1%）の2倍以上となっています。このデータから読み取れる東北地方の実情と、比較対象となる他の地方との関係について述べた文として正しいものはどれですか。 (2020年 福島県公立入試 類似)
1. 人口割合が面積割合を大きく下回っているのは、広大な土地のすべてが工業地帯として利用され、居住に適さない場所が多いからである。                      2. 広大な面積に対して人口が少ないため人口密度は低く、人口が集中する関東地方などとは対照的な指標を示す。                      3. 面積割合と人口割合の差が小さいため、中部地方と同様に人口が各県に分散し、全国平均に近い人口密度を保っている。                      4. 人口密度が全国で最も低い水準にあるため、東北地方には人口が100万人を超える都市や政令指定都市は一つも存在しない。
- 問11 日本の地方区分に関する位置関係の記述として、東北地方の福島県が隣接する他の県や地方の様子を正しく説明しているものはどれですか。 (2025年 熊本県公立入試 類似)
1. 近畿地方の1県と関東地方の3県に陸地で隣接している。                      2. 中部地方の3県と北海道地方の1県に陸地で隣接している。                      3. 関東地方の3県と中部地方の1県に陸地で隣接している。                      4. 関東地方の2県と近畿地方の2県に陸地で隣接している。
- 問12 東北地方の太平洋側では、夏にオホーツク海高気圧から冷たく湿った北東の風が吹き込み、稲の生育が妨げられることがあります。このような自然条件に対応するために行われてきた、農業の取り組みとして最も適切な説明はどれですか。 (2020年 京都府公立入試 類似)
1. 「やませ」による冷害を克服するため、寒さに強く食味が優れた「銘柄米」を開発し、産地ブランド化による差別化を図った。                      2. 温暖な冬の気候を活かした「二毛作」を推進し、夏の収穫不足を補うために麦の栽培面積を拡大した。                      3. 大規模な「干拓」によって農地を広げ、冷害の影響を分散させるために、品質よりも生産量を重視した安価な品種を増産した。                      4. 夏に吹く乾燥した季節風を利用して、水田から畑作へと大規模な転換を行い、ブランド野菜の生産に特化させた。
- 問13 日本各地で外国人観光客の誘致（インバウンド）が進む中、秋田県において東アジア地域からの宿泊客が全体の7割を超えるほど高い割合を占めている要因として、地理的な視点から考察した説明として最も適切なものはどれですか。 (2020年 秋田県公立入試 類似)
1. 日本との物理的な距離が近く、航空路線の整備などにより移動の負担が比較的小さいため                      2. 時差が10時間以上ある遠方から、長期滞在を目的とした休暇利用者が多く訪れるため                      3. 公用語として日本語を採用している国が多く、言葉の壁による心理的な障壁が低いため                      4. 赤道に近い低緯度地域に位置しており、熱帯気候の人々が冬の雪を求めて移動しやすいため

## 答え合わせ・解説

|     |                                                                            |                                                                                                                                                                                             |
|-----|----------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 問1  | 答え 3<br>風力発電                                                               | 東北地方の日本海側や沿岸部は、年間を通じて偏西風や季節風などの強い風が吹きやすいため、風力発電所の建設に適しています。地熱発電は奥羽山脈などの火山がある内陸部、水力発電は水流の落差が得られる山間部に多く立地するため、地図上の分布場所（沿岸部か内陸・山間部か）によって区別することができます。                                           |
| 問2  | 答え 3<br>庄内平野 – 大阪                                                          | 山形県を流れる最上川の河口に広がるのは庄内平野です。江戸時代、この地域で生産された米は酒田港から積み出されました。当時整備された「西廻り航路」は、日本海から下関を経由して瀬戸内海に入り、現在の大阪（天下の台所）へと物資を運ぶルートであったため、目的地は大阪となります。越後平野は新潟県に位置する平野です。                                    |
| 問3  | 答え 4<br>やませ                                                                | 夏季に北東方向から吹き込む冷涼な風は「やませ」と呼ばれます。この風が長期間吹き続けると、日照不足や低温をもたらし、特に水稻（米）などの農作物がダメージを受ける「冷害」の原因となります。冬に吹く北西の季節風とは性質が異なる点に注意が必要です。                                                                    |
| 問4  | 答え 3<br>福島県                                                                | 東北地方は北から青森県、岩手県・秋田県、宮城県・山形県、そして最も南に福島県が位置しています。長野県から東京などの関東地方を経由して新幹線で北上する場合、関東地方（栃木県）と境界を接している福島県が東北地方の玄関口となります。                                                                           |
| 問5  | 答え 2<br>太平洋側の気温が日本海側より低くなる。要因は、冷涼な北東の風である「やませ」が流れ込むためである。                  | 東北地方の太平洋側では、夏にオホーツク海高気圧から「やませ」と呼ばれる冷たく湿った北東の風が吹き込むため、日本海側に比べて8月などの月平均気温が低くなる傾向があります。この冷涼な気候が長く続くと、稲の生育に悪影響を及ぼす冷害が発生する原因となります。                                                               |
| 問6  | 答え 2<br>県庁所在地の盛岡市は内陸部に位置しており、そこから東へ向かった太平洋沿岸には、奥行きのある湾が連続する三陸海岸の景観が広がっている。 | 岩手県の内陸部には北上川が流れる盆地があり、そこに県庁所在地の盛岡市が位置しています。一方、東側の太平洋沿岸は三陸海岸と呼ばれ、特にその南部はリアス海岸という独特の形状をしています。奥羽山脈は岩手県と秋田県の県境付近を走る山脈であり、海岸線まで迫っているのは北上山地であるため、地形の名称を正確に理解しておく必要があります。                          |
| 問7  | 答え 1<br>白山山地                                                               | 青森県から秋田県にかけて広がるこの地域は、人の手がほとんど加わっていない貴重なブナの原生林が残っていることが高く評価されました。屋久島（鹿児島県）とともに、日本で最初に登録された世界自然遺産の一つです。                                                                                       |
| 問8  | 答え 1<br>冷害                                                                 | 「やませ」が吹くと、奥羽山脈に風が遮られることで太平洋側の地域に霧や雲が停滞し、夏の気温が上昇しなくなります。稲の開花や結実の時期に気温が低い状態が続くことで、米が十分に実らない現象を冷害と呼びます。これに対抗するため、東北地方では低温に強い品種（耐冷性品種）の開発や、水田の水を深く張って稲の根元を保温するなどの対策が行われています。                    |
| 問9  | 答え 3<br>①冬 – ②農家 – ③副業                                                     | 東北地方の伝統的工芸品の多くは、豪雪地帯特有の「冬」という季節的な制約を克服するために生まれました。「農家」が耕作のできない時期に、生活の糧を得るための「副業」として加工品を作ったことが、地域特有の技術を磨き上げる契機となりました。                                                                        |
| 問10 | 答え 2<br>広大な面積に対して人口が少ないため人口密度は低く、人口が集中する関東地方などとは対照的な指標を示す。                 | 東北地方は、面積割合が約18%に対して人口割合が約7%と、土地の広さに対して人口が少ないという特徴があります。これにより、人口密度は全国的に見て低くなります。これは、狭い面積に膨大な人口が集中する関東地方などの都市圏とは正反対の統計的傾向です。なお、東北地方にも宮城県の仙台市のような政令指定都市は存在しており、地方内での人口分布には偏りも見られます。            |
| 問11 | 答え 3<br>関東地方の3県と中部地方の1県に陸地で隣接している。                                         | 福島県は東北地方の南端に位置しており、関東地方の3県（茨城県・栃木県・群馬県）と中部地方の1県（新潟県）と陸続きで接しています。                                                                                                                            |
| 問12 | 答え 1<br>「やませ」による冷害を克服するため、寒さに強く食味も優れた「銘柄米」を開発し、産地ブランド化による差別化を図った。          | 東北地方の太平洋側では、夏に「やませ」と呼ばれる冷涼な北東風が吹くことで、気温が上がらず作物が育たない冷害が度々発生してきました。これに対し、農業試験場などで寒さに強い品種の研究が進められた結果、「コシヒカリ」や「ひとめぼれ」のように味も良く寒さにも強い品種が誕生しました。これらは「銘柄米」としてブランド化され、市場価値を高めることで地域農業の安定と発展に寄与しています。 |
| 問13 | 答え 1<br>日本との物理的な距離が近く、航空路線の整備などにより移動の負担が比較的小さいため                           | 観光客の移動（流動）には、出発地と目的地の間の「距離」が大きな影響を与えます。韓国、台湾、中国などの東アジア地域は日本との距離が近く、移動時間や交通コストが抑えられるため、多くの観光客が訪れる要因となります。秋田県においても、これら近隣諸国からのアクセス利便性が、宿泊者数の高いシエラに繋がっています。                                     |